

山北小学校
北小学校より

山北っ子

児童一人一人が輝き、夢実現

H31. 2. 27
第12号

文責 淵上 佳宏

携帯電話・スマホ等について



最近ニュース等で話題となつているので、ご承知の方もおられると思いますが、大阪府教委が、公立小中学校で携帯電話やスマートフォン（スマホ等）の持ち込みを認めるガイドラインの素案を示しました。ただし、これは災害の発生時や犯罪に巻き込まれた際などの緊急時に使えるようにするためで、校内での使用は禁止し、登下校中に限定しています。

一方、インターネットをめぐっては、子供たちの間に様々な問題が起こっています。不適切なサイトへのアクセス、LINEやSNSを使つてのいじめやトラブルなどの事案が本県内でも多数報告されています。また、ネットゲームやユーザーチュウブ等の閲覧などを長時間することで、健康への悪影響も心配されます。これらは、数年前までは中高生が目立っていた問題でしたが、スマートフォン以外にも、携帯用の音楽プレイヤーやゲーム機でインターネットに接続できること

内容	割合
自由に使えるネットにつながる機器がある。	72.9% (74.4%)
自由に使えるスマホがある	17.8% (16.8%)

【全学年,上段:本校,下段:H29県】

から、小学生にとつても大きな問題となりつつあります。昨年十二月の調査（表参照）では、本校でも多くの子どもが自由にインターネットを使える状況にあることが分かります。私は県校長会の生徒指導専門委員をしていますが、その会合の中でも、委員の校長先生方から「今まで通り小中学生にスマホ等を持たせるべきではない」「規制より安全に使わせる指導を考えるべきだ」等、様々な意見が出され、正直悩ましい問題だと感じています。ただしその中でも、私が一番懐に落ちたのは「問題はスマホ等そのものではなく、買い与える時の親子の関係だ」という意見でした。

学校では、今後さらに情報モラル教育を充実させていく予定です。ネットに潜む危険性やネットコミュニケーション特有の注意点等はもちろん子供たちの発達段階に応じて指導していきます。しかし、インターネットに絡む問題やトラブルは、一義的にはスマホ等を買った保護者の責任であることを確認いただきたく思います。子供たちの方がネット社会に精通している場合もあります。安易な発想は、取り返しの付かない結果を招くこともご認識をお願いします。

前述のニュースが、「小中学校でスマホ解禁」と誤解を招くような記事の書きぶりになっていないか心配しています。進級・進学の時期は、新たにスマホ等を持つ子供が一気に増える時期です。持たせる場合には、是非、保護者の責任のもと、しっかり子供と向き合っていたくださいますようお願いいたします。

山北八幡宮奉納相撲に参加しました

二月十九日（火）は、

地域の伝統行事の山北八幡宮春祭り奉納相撲（白木宮相撲）に五・六年生が参加しました。当日はあいにくの雨になり、社殿内に特設した土俵で行いましたが、応援の女子も含め、子供たちがしっかりとお祭りを盛り上げてくれたので、参拝に来られた地域の皆様をたくさん笑顔にすることができました。



奉納相撲を披露する子供たち（行司は北原先生）

なお、宮相撲については、二十二日の熊日新聞でも紹介していただいています。その記事から、宮相撲は江戸時代から続く行事であること、四十年ほど前から山北小児童が引き継いでいることなどを知り、地域の行事を大切に守り育てておられる地域の皆様の思いを改めて感じることができました。

◎ 七月にリニューアルした本校のホームページが一万アクセスを達成しました。今後とも内容の充実に努めて参ります。

◎ 三月一日（金）に、学習発表会があります。平日ではありませんが、可能な限りご参観いただき、子供たちの学習の成果や頑張りをご覧いただければ幸いです。また、発表会後には、学校評価等についての説明もさせていただきます。